

2021年 第68回尾張駅伝競走大会 大会参加における遵守事項

2020/12/25 尾張陸上競技協会

本大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、(公財)日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイダンス」および「ロードレース再開についてのガイダンス」に従い実施する。昨年度までの尾張駅伝競走大会と異なるところがあるため注意すること。また、この文書とともに大会要項記載の注意事項についても確認すること。

遵守されない場合、今後の競技会開催に影響が出ることもあり得るので、各団体で選手・保護者等関係者に周知すること。

1 感染防止のための全般的な注意事項

- ①大会1週間前から体調管理チェック表を記入し、競技場入場時に各個人で提示する。
※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ・体調がよくない(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。
- ②運動中以外はマスクを着用し、手洗い・洗顔を徹底する。
- ③3密(密閉・密集・密接)回避行動を心掛ける。
- ④ウォーミングアップは個別に行う。
- ⑤競技終了後および競技用具使用後は手洗い・洗顔・手指の消毒をする。
- ⑥更衣室の滞在は短時間にし、シャワールームは使用を禁止する。
- ⑦運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- ⑧ゴミは各自で必ず持ち帰る。
- ⑨競技者同士の会話は極力避け、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。
- ⑩声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ⑪競技者は自分の競技時間に合わせて来場し、競技が終わったら速やかに帰宅する(競技場滞在時間をできるだけ短くする)。
- ⑫競技者以外の応援者・観客の競技場内(スタンドを含む)への立ち入りを禁止する。
- ⑬ホームストレート前スタンドは競技役員控え場所として使用するの、各団体での使用を禁止する。各団体は芝生スタンドを使用し、密を避ける工夫をする。
- ⑭参加者は、大会終了後2週間は健康チェックをする(体調管理チェック表【大会後/個人管理用】を活用する)。症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告する(症状には個人差があるため、強い症状と思う場合はすぐに報告する)。また、保健所、医師会、診療所に相談後、必ず大会主催者に報告する。
- ⑮大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

2 観戦について

- ・本大会は無観客で実施する。フェンス外からの観戦についても禁止する。また、コース沿道での観戦・応援についても行わない。
- ・競技場内に入場できるのは、当日の出場選手・補欠選手・監督および競技役員・補助員のみとする。マネージャーは入場できないため、各団体にて対応を工夫すること。
- ・監督以外の引率教員で入場できるのは、補助役員として競技会運営に協力できる者のみとする(補助員数を必要最小限に絞って実施するため、円滑な大会実施のため引率教員は競技会運営に協力をしてください)。

3 競技場への入場について

(1) 出場選手・補欠選手・監督・補助員

- ・入場口はスタンド西側の通用口1か所のみとする。
- ・競技場内への入場可能時間は以下のとおりとするので、時間に合わせて来場する。

中学生の部	8 : 30
一般・高校の部	10 : 00
補助員	9 : 20 (集合9 : 30)
- ・来場時間を厳守する（競技場外の密を避けるため、来場時間より前に競技場前に待機することを禁止する）。
- ・入場の際は「体調管理チェックシート」およびナンバーカード（ビブス）（選手）・入場許可証（補欠・監督）の確認と、非接触体温計での体温測定を受ける。当日の体温が37.0度以上の場合は会場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・「体調管理チェックシート」の回収は、初回入場時におこなう。再入場の際は、ナンバーカード（ビブス）（選手）・入場許可証（補欠・監督）・補助員腕章（補助員）を提示し確認を受ける。

(2) 引率教員（補助役員）

- ・入場口は競技場1階「本部室」入り口1か所のみとする。
- ・入場の際は「体調管理チェックシート」の確認および非接触体温計での体温測定を受ける。当日の体温が37.0度以上の場合は会場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・入場の際、競技役員（役員係）より補助役員の部署の指示を受け、腕章を受け取る。その際に「体調管理チェックシート」は提出する。
- ・再入場の際は、腕章を提示して入場する。

(3) 競技役員

- ・入場口は競技場1階「本部室」入り口1か所のみとする。
- ・入場の際は「体調管理チェックシート」の確認および非接触体温計での体温測定を受ける。当日の体温が37.0度以上の場合は会場内に入場できない。ただし、平素の体温も考慮する。
- ・入場の際、競技役員（役員係）より出席確認を受け、その際に「体調管理チェックシート」は提出する。
- ・審判員章を着用する。ない場合は役員受付時に腕章を受け取る。
- ・再入場の際は、審判員章または腕章を提示して入場する。

4 チーム受付について

- ・チーム受付場所は本部前に設置するので、競技開始1時間前までにおこなう。
- ・受付の際に、以下の書類を提出する。
 - 「オーダー用紙」
 - 「チーム控え場所位置図」（自チームの控え場所の位置が分かるように○印をつける）
- ・受付の際に、使用するタスキの検印を受ける。

5 各団体控え場所について

- ・各団体の控え場所は、芝生スタンドのみ使用可とする。競技場メインスタンドおよび芝生スタンド以外のスペースは使用禁止とする。また、競技場外の場所（いちい信金スポーツセンター敷地内の木陰など）についても使用禁止とする。
- ・控え場所ではマスクを着用し、密が避けられるように各団体で配慮する。

6 招集について

- ・各競技者の招集は、大会要項記載の先頭通過予定時刻の10分前に中継点付近の各区分招集場所にておこなう。
- ・招集場所での密を避けるため、時間前から待機することを禁止する。
- ・招集場所へは選手以外の入場を禁止する。
- ・招集時には密を避け、前後の間隔を確保して整列する。また、マスクを必ず着用する。

7 競技中および競技終了後について

- ・招集場所へは手洗いを実施してから集合する。
- ・招集場所集合以降、競技終了まで、競技役員の指示に従い行動する。
- ・スタート地点・中継点付近では密を避け、常に周囲との距離を保つ。
- ・レース中以外はマスクを着用する。マスク着用による熱中症に気をつける。
- ・レース終了後は、直ちに手洗い場（スタンド西側通用口付近）に移動し、手洗いおよび洗顔を実施する。
- ・競技終了後は速やかに荷物をまとめ、手洗いのうえ退場し、そのまま帰宅する（競技終了後は競技場内に留まることはできない）。

8 その他

- ・記録の発表は上位チームおよび競技者のみ放送にておこなう。記録の掲示はおこなわないが、尾張陸上競技協会の本大会記録発表用 Twitter に期間限定で掲載する。また、この記録発表用 Twitter にて荒天等にもなう大会の有無について8:00までに告知する。アカウントについては監督会議にて通知する。なお、後日、リザルトを愛知陸上競技協会HPに掲載する。
- ・表彰式はおこなわない。表彰に該当するチームおよび選手は賞状等を本部（表彰係）より受け取ってから帰宅する。
- ・競技場入場後のトイレは、スタンド下トイレのみ使用可とする。
- ・発熱者が発生したときは、迎えが来るまで競技者控室にて待機させる。
- ・競技役員は、控え場所としてメインスタンドを使用する。
- ・ゴミは必ず各自で持ち帰り、自宅で処分する。
- ・厚生労働省が提供する、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の使用を推奨する（ただし、通信端末は競技エリアに持ち込むことはできない）。
- ・その他、競技役員の指示があった場合はその指示に従う。